

## 【疑惑追及】

### 高校野球で「ゴースト監督」疑惑

事故で片目の視力を失いながらも、無名チームを強豪校に育て上げ、独眼竜の異名で知られる高校野球の袋小路止監督(50)に疑惑の目が向けられている。

袋小路監督といえば、あの全国大会決勝戦——延長10回表、満塁のピンチに相手3番打者を敬遠し、あえて1点のリードを与えておいて、その裏の攻撃で8番打者に逆転ホームランを打つよう指示——大胆な采配で初優勝に導いた高校野球界でも屈指の名監督である。

また、私生活では両目の視力が徐々に失われつつあるなか「オレから酒と野球を取ったら自己破産だ」といった奇抜な言動が話題となって、講演会やテレビ・ラジオの出演でも人気を集めている。

今回、そんな袋小路監督をめぐる突如として「ゴースト監督」疑惑が浮上した。

## 「ゴースト監督」だったA氏の告白

私は、長年にわたり袋小路監督と共に皆様を欺いてきました。申し訳ありません。彼は、自分の采配を統計と確率にもとづく独自の野球理論と説明していますが、全くのデタラメです。彼自身の数学知識は小学生以下です。実際には、私が調べたデータをコンピューターの野球ゲームでシミュレーションして、その結果を参考にしていました。また、医師の話によると彼の視力は両目とも1.5だということです。

袋小路止監督は、数週間前に自宅近くの路地裏から「迷子になった」と連絡してきたのを最後に、いまだ行方不明である。

全国の高校野球ファンを熱狂させた名監督。彼の視力は完全に回復したようだが、その面目は完全に失われてしまった。 (文責・大内)

追記…一部の報道によると、現在ロシアで開催中の冬の世界不定住者競技大会(通称:冬のホームレス五輪)の雪野球で、日本代表は黒い眼帯姿の新人選手の活躍により、見事に金メダルを獲得したという。